

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年 9 月 2 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	大王海運株式会社
所 在 地	愛媛県四国中央市三島紙屋町7番35号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 曾我部雅司
担 当 者 連 絡 先	電 話：0896-24-9200
	メール：soumu@daio-kaiun.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	(会社サイト) https://daio-kaiun.com (SDGsサイト) https://daio-kaiun.com/sdgs/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

大王海運は紙のまち愛媛県四国中央市と東京の二本社体制のもと、「陸から海へ、そして再び陸へ」をスローガンに海上輸送・陸上輸送・倉庫・通関等を組み合わせた「海陸複合一貫輸送」により物流をトータルでサポートする企業として、品質・コスト両面からお客様にサービスを提供しています。近年、環境保護と省エネルギーに加えてドライバーの働き方改革への対応策（2024年問題）に物流企業も対応に苦慮しています。弊社では、四国中央（三島川之江港）～大阪（堺泉北港）～千葉（千葉中央港）～岡山（宇野港）4港を3隻のR0-R0船（トレーラーの荷台部分のみ海上輸送する船）が毎日運航する定期航路の運営を事業の核に据えており、近年問題となっているトラック運転手の不足や長時間労働の解決策を提案しています。また、主要荷主である大王製紙が海外から輸入する製紙原料である木材チップの海上輸送や生産された紙製品の関西・関東圏への海上輸送も担うなど環境配慮型輸送に取り組んでいます。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	モーダルシフトの推進	①ドライバー負荷の軽減（2024年問題の対応） ②CO2 排出量削減による環境負荷の軽減 ③BCP 対策（自然災害に対する貨物の安定供給）
✓環境 □社会 □経済	カーボンニュートラルに向けた取組	①エコシップ（低燃費チップ船）の運航 ②内航船の省エネルギー格付制度の獲得 ③太陽光発電設備（再生可能エネルギーの供給）
□環境 ✓社会 ✓経済	地方創生	①港湾設備・船舶・倉庫等の社会インフラの保全・増強 ②みなと祭や産業祭への参加など地域の活性化 ③自社独身寮（120室超）の維持管理

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進・昇格、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止規程・対応マニュアルを制定し相談窓口を設け、職場における健全な秩序ならびに協力関係を構築しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時間外・休日労働に関する協定並びに特別条項を遵守しています。(特別条項の適用ゼロ) ・監査部門を設け長時間労働を防止しています。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者に対する差別、人権侵害はありません。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎月安全衛生委員会を開催し労働環境の整備について協議し取り組むとともに、教育を行っています。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年1回のストレスチェックの実施とその後のケアを実施。また、社員向けのメンタルヘルス講習を実施しています。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいます。 ・令和4月8月3日現在、1名の障がい者を雇用。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・入社時の合同基礎研修、総合職の部門研修、簿記講習、通信教育制度等の各種教育訓練を実施。 ・公的資格取得表彰制度を設けています。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿っています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年1回の健康診断、中間検診、再検査は受診率100% ・婦人検診、ワクチンの職域接種を実施。 ・AED使用講習の実施。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・電子媒体記録による紙資源のリデュース。 ・裏紙の利用によるリユース。 ・再生用古紙、エネルギーとなる一般廃棄物の回収。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・電力等のエネルギー使用量を管理。 ・省エネ法を遵守し特定輸送事業者(貨物)として中長期計画・定期報告を行い効率化を推進。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・事務所空調設備に使用されるフロンは法に基づき適切に処理しています。（機器点検や回収）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・エコシップ（低燃費チップ船）の運航 ・スクラバー、バラスト水処理装置の搭載 ・EEDI（内航船省エネルギー格付制度）						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001を認証取得。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・倉庫の屋根のスペースを有効活用し、3基の太陽光発電設備（計4,400KW）を稼働し約1,200世帯分の電力を供給しています。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001を認証取得。品質マネジメントシステムに基づくサービスの提供を行っています。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・弊社のRO-RO船はトラック輸送と比較しCO2排出量を約5分の1程度に削減できます。環境負荷の少ない輸送手段として荷主企業の環境負荷を低減します。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・弊社のRO-RO船輸送により、トラックドライバーの時間外労働上限規制（2024年問題）に対応した社会の実現に貢献します。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・弊社は地域の基幹産業である製紙業の発展とこれに伴う三島川之江港の港勢拡大の中で業容を拡大。構築した社会インフラを持続させる責任があります。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・奨学会等への寄付、海岸美化ボランティア（クリーンデー）、外国人を対象とした日本語指導ボランティア、みなと祭や産業祭への地域活動に参加しています。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地域で生産される紙資源を利用しています。								8	9		11	12	13				

令和 5 年 10 月 20 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	愛媛県四国中央市三島紙屋町 7 番 35 号
名 称：	大王海運株式会社
代 表 者：	代表取締役 曾我部 雅司
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	モーダルシフトの推進	①ドライバー負荷の軽減 (2024 年問題の対応) ②CO2 排出量削減による 環境負荷の軽減 ③BCP 対策(自然災害に対する 貨物の安定供給)	・ R0-R0 船 3 隻年間就航率 97.5% ・ 東北地区中継輸送の実施 (ドライバー負荷軽減) ・ 船内見学会(千葉・岡山) ・ セミナー講演の実施 千葉港ポートセミナー(11 月) 和歌山下津港ポートフォーラム 大阪みなとセミナー(2 月・8 月)
✓環境 □社会 □経済	カーボンニュートラル に向けた取組	①エコシップ (低燃費チップ船)の運航 ②内航船の省エネルギー格付 制度の獲得 ③太陽光発電設備 (再生可能エネルギーの供給)	・ エコシップ 4 隻を運航 ・ 省エネルギー格付 5 つ星 (環境性能改善率 20%以上) の R0-R0 船 2 隻を運航 ・ 太陽光発電設備(4,400KW) 年間 490 万 kWh 発電
□環境 ✓社会 ✓経済	地方創生	①港湾設備・船舶・倉庫等の 社会インフラの保全・増強 ②みなと祭や産業祭への参加 など地域の活性化 ③自社独身寮(120 室超)の 維持管理	・ 産業祭参加(2022 年 11 月) ・ みなと祭参加(2023 年 7 月) ・ 自社独身寮 維持管理 受入可能数 57 室/計 121 室

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	愛媛県四国中央市三島紙屋町 7 番 35 号
名称：	大王海運株式会社
代表者：	代表取締役 岩井 正実
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	モーダルシフトの推進	①ドライバー負荷の軽減 (2024 年問題の対応) ②CO2 排出量削減による 環境負荷の軽減 ③BCP 対策(自然災害に対する 貨物の安定供給)	・ R0-R0 船 3 隻年間就航率 98% ・ R0-R0 船への積載率 UP (航路) 千葉～大阪～岡山～四国 【上り】 93%→98% (5%UP) 【下り】 75%→87% (12%UP) ・ 船内見学会実施 (大阪)
✓環境 □社会 □経済	カーボンニュートラル に向けた取組	①エコシップ (低燃費チップ船)の運航 ②内航船の省エネルギー 格付制度の獲得 ③太陽光発電設備 (再生可能エネルギーの供給)	・ エコシップ 4 隻を運航 ・ 省エネルギー格付 5 つ星 (環境性能改善率 20%以上) の R0-R0 船 2 隻を運航 ・ 太陽光発電設備 (4,400KW) 年間 490 万 kWh 発電
□環境 ✓社会 ✓経済	地方創生	①港湾設備・船舶・倉庫等の 社会インフラの保全・増強 ②みなと祭や産業祭への参加 など地域の活性化 ③自社独身寮 (120 室超) の 維持管理	・ 大王海運レディスオープンでの SDGs ブース展示 (2024 年 4 月) ・ みなと祭参加 (2024 年 7 月) ・ 四国中央市お仕事体験フェスタ 参加 (2024 年 10 月)

令和 7 年 11 月 4 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	愛媛県四国中央市三島紙屋町 7 番 35 号
名称：	大王海運株式会社
代表者：	代表取締役 岩井 正実
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	モーダルシフトの推進	①ドライバー負荷の軽減 (2024 年問題の対応) ②CO2 排出量削減による 環境負荷の軽減 ③BCP 対策(自然災害に対する 貨物の安定供給)	・ R0-R0 船航路増便 (千葉ー大阪) 富王丸投入 (2025 年 10 月) 積載能力：(シャーシ 130 台と 乗用車 60 台) 週 3 便の増便 ・ 関西万博 Team expo パビリオン 参加 (2025 年 8 月)
✓環境 □社会 □経済	カーボンニュートラル に向けた取組	①エコシップ (低燃費チップ船)の運航 ②内航船の省エネルギー 格付制度の獲得 ③太陽光発電設備 (再生可能エネルギーの供給)	・ エコシップ 4 隻を運航 ・ 省エネルギー格付 5 つ星 (環境性能改善率 20%以上) の R0-R0 船 2 隻を運航 ・ 太陽光発電設備 (4,400KW) 年間 460 万 kWh 発電
□環境 ✓社会 ✓経済	地方創生	①港湾設備・船舶・倉庫等の 社会インフラの保全・増強 ②みなと祭や産業祭への参加 など地域の活性化 ③自社独身寮 (120 室超) の 維持管理	・ 産業祭へ参加 (2024 年 11 月) ・ 大王海運レディスオープン開催 と SDGs ブース展示 (2025 年 4 月) ・ みなと祭参加 (2025 年 7 月) ・ R0R0 船見学会実施(2025 年 9 月)